

丹比地区振興会

だより

発行 NO11号
 平成25年5月15日
 発効 編集委員会
 丹比(4月1日現在)
 人口 1,556人
 (前年比+12人)
 世帯 656世帯
 (前年比+17世帯)
 [市役所登録数値]

— 浜田市長を迎えて —

元気な年寄りになろう お年寄りをみんなで支えよう

そして
丹比地区振興会
まちづくり懇談会



24年12月22日(土)午後1時30分から
吉田生活改善センターにおいて丹比地区振興会主

催の「まちづくり懇談会」が開催されました。
 市からは、浜田市長さんや幹部職員5人、市議
 会から吉田町選出の藤井議員、石飛議員、前重議
 員、玉重議員の出席のもと会員50人の参加を得
 て真剣に討議されました。

浜田市長

○私はこのような機会をとおして、市の運営方針
 をのべていただき、皆さんの意見や考え方を
 きかせていただくことが非常に大切であると考
 えている。開催していただいたことを感謝する。
 ○光ネットワーク整備事業は、25年10月から
 市内全域で供用開始できる。都市と農村の情報格
 差をなくす大きな一助になる。期待する効果は
 ①学術・芸術・文化の分野で高度な教育が可能
 となり児童・生徒が市内に定着する。

②少子・高齢化がすすみ医療機関が少なくなる
 ことが予想される。医療分野に活用できる。
 ③都市にも丹比の情報を積極的に発信し、特産
 品など物販を促進できる。
 ④企業誘致に大切な手段になる。
 ○市民総ヘルパー構想の実現に最大限努力してい
 る。増大する医療費の削減につながる。
 みなさんが「ヘルパー講座」を一般教養として
 受けていただき医療、介護の情報を共有し、自助・
 共助の世界をはぐくんできていくことをめざしている。
 ○高齢化するなかで、「元気なお年寄り」が何よ
 り大切です(自助)。しかし介護が必要となれ
 ば、まず「地域でそれをどう支えることができる
 か(共助)」を考えていただきたい。

○25年度から、ウォーキングの奨励、健康診断
 のレベルアップ、健康指導の強化など健康管理を
 重視した健康増進計画(仮称)を推進したい。

○今年、皆さんの応援のおかげで、サンフレ
 ヂェはリーグ優勝、サンフレッチェユースU-1
 8は高円宮杯で優勝した。「優勝おめでとう!!」
**情報政策課から「光ファイバー整備」につ
 いて**

○加入率(一期分)実世帯数に対し吉田町69.
 4%、八千代町73.4%、美土里長93.8%、
 高宮町91.8%です。

○管理運営事業者は「中国ブロードバンドサービ
 ス株式会社」(本社川甲支所内)

質疑・応答

●お助けホンを集会所へ設置できるか、設置費用
 はいるのか。

○嘱託員に申込用紙を送るので申込を。負担なし。

●不要となった有線施設の撤去は。

○農協施設であり農協と協議している。

●お助けホンの吉田町加入率が低い、目的を達成
 できるか、また丹比地区についてはどうか。

○100%を目指し加入啓発をする。丹比地区は
 88.0%です。(実世帯数に対し)

●堆肥ストックヤードの活用(昨年に続き再質問)

○フレコンバック(500kg)なので個人の活
 用はできない。農事組合法人が大量に必要ならば、
 量、時期などを協議していただければ利用可能で
 ある。

●川原(八千代町土師の市道に白線を引いてほし
 い。濃霧のときは自動車運転に支障をきたす、過
 去に人身事故も発生した。

○予算が少ないなか、年次計画を立てて実施して
 いる、もう少し待つてほしい。

●前記路線において市施工の草刈で、草の処分を
 してほしい。側溝がふさがり水があふれるなど処
 置に困っている。

○市内5路線で草刈りを実施している。いずれも
 草の処分はしていない。処分場所を地元で確保し
 ていただけるなら、放置しない方法で検討する。
 ●少子化が進むなか、保育所に入所できない子供
 がいると聞く、全員入所できるように。

○4月1日以前にわかれば全員入所している。途
 中入所は難しいので理解してほしい。

●圃場整備後の農道舗装をしてほしい。

○県の補助事業は要件が厳しく難しい。市の限ら
 れた予算で進めている。要望により判断する。

●県道吉田・瑞穂線(相合)とサッカー公園の市道で、相合5班集落入口の三角地(駐車禁止)に大型車の時間待ち駐車があり、住宅への出入りが非常に危険だ。警察も市と検討すると回答。早急に対策をしてほしい。

○早急に実施する方向で現地調査をする。

●鳥獣保護区について(昨年に続き再質問)

現在郡山を中心に指定された範囲のうち、県道吉田・原田線より北西部分の解除をお願いしている。28年10月が更新時期ですが事前に地元行政の意見をきくことを確約してほしい。

○できるだけ幅広い意見を聞きながら要望に応えられるよう努力する。

●葬祭場の管理運営について

○25年4月供用開始する。

○最初が大事なので、大手業者のプロポーザル方式(提案型)で管理運営方法、技術力、経費、実績など総合的に検討し株式会社五輪に決定した。○3年間行わせる。焼却場を作った会社の関連会社である。

●お助けワゴンの乗務員指導について

印内に運行していただき大変感謝している。乗務員が乗客に「道が悪い、木の枝や草が道にでて車に傷がつく」と言われ不愉快な思いをした。草刈は地元で努力しているが限界がある。木の伐採も所有権があり難しい。善処してほしい。

○お助けワゴンの運行も定着し、予想を上回る乗客数です。市も便利でかつ快適に乗っていただきたいとおもっています。乗務員の指導について運営事業者会議で徹底します。

●不要になった消火器はどのように処分すればよいか。

○不燃ごみでは処分できません。

専門の処理業者をお願いしてください。安芸高田市内では下記の業者へ依頼してください。

新年の決意を筆にこめて

書初め大会

1月5日(土)クリスタルアージュ大ホールで、丹比地区、吉田地区振興会共催で、「新年書初め大会」を開催しました。低温注意報が出た非常に寒いなか、あらかじめ申し込みをした119人(丹比地区26人)の小学生が参加しました。

9時30分から開会行事が始まり、主催者を代表し丹比地区の川角会長から新年の挨拶、指導者の紹介の後、書写について「気を付けること」の説明がありました。

新年の決意を込めて、1、2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で課題書を手本に90分間一字一字を真剣に書写していました。

書き上げた作品は、学年ごとにパネルへ展示し、指導の先生から講評があり、気を付けることをよく守り、力強く書けているとの、おほめの言葉がありました。最後に、全員が参加賞をもらい、一階の研修室で白玉入りのぜんざいを食べ、家路につきました。

大会後の反省会で、指導者の中から、高齢を理

消火器の処分は

甲田町(甲立駅前)

イマムラ商会

電話0826(45)4127

有料にて処分をお願いできます。

由に来年の指導は難しいとの発言がありました。が、「未来を託す子供たちのために、もう少し頑張っていたください」との声に「もう1年、頑張ってみよう」とのお言葉をいただきました。

2日間にわたり、お世話をいただいた関係者から心からお礼申し上げます。



活動方針決定へ

25年度 振興会総会開催

4月27日(土)吉田生活改善センタにおいて、平成25年度の総会を代議員・役員・賛同者をあわせ85人が出席して開催しました。

規約により川角会長が議長となり、提出議案を審議し、原案通り決定しました。

本年度は役員改選期で、新役員が選出され決定しました。

決定内容は、次頁以降に掲載しています。



平成24年度 決算報告

振興会では、皆さんから拠出いただいた会費、市からの助成金や負担金などの収入で、さまざまな事業を実施しました。

丹比地区振興会 平成24年度 収支決算 (単位: 円)

収入の部

科目	分類	24年度予算	内 訳	24年度決算	内 訳	備 考
会費	収入	92,600	92,600	94,400	94,400	472戸×200円
補助金		1,435,000		1,178,000		
	活動助成金		905,000		905,000	安芸高田市
	町内一斉清掃		120,000		120,000	5,000円×24集落
	特色有る事業		110,000		118,000	高齢者友愛訪問
	特色有る事業		300,000		35,000	花いっぱい運動
参加負担金		0	0	0	0	
寄付金	安芸高田市商工会	25,000	25,000	25,000	25,000	
雑収入		205,030		235,044		
	文化祭売上金		200,000		227,225	
	文化祭特設募金		5,000		7,726	
	預金利息		30		93	
繰越金	繰越金	247,670	247,670	247,670	247,670	
合 計		2,005,300	2,005,300	1,780,114	1,780,114	

支出の部

科目	分類	24年度予算	内 訳	24年度決算	内 訳	備 考
事務費		185,000		127,995		
	事務局活動費		35,000		35,000	
	通信費		50,000		34,100	切手・はがき他
	消耗品費		100,000		58,895	用紙・封筒・コピー他
会議費	総会・役員会・部会	50,000	50,000	64,104	64,104	会場使用料含む
研修費	連絡協議会視察研修	25,000	25,000	25,000	25,000	5,000円×5人
事業費		1,458,000		1,063,404		
	まちづくり懇談会		10,000		4,200	
	町内一斉清掃助成金		120,000		120,000	5,000円×24集落
	高齢者友愛訪問		110,000		118,149	食材費他
	特色ある事業		300,000		0	
	花いっぱい運動		0		35,000	マリーゴールド苗代
	広報紙発行		120,000		100,700	定期2回
	第一支部活動		50,000		50,000	ふるさと祭り他
	第二支部活動		50,000		25,830	桜公園管理他
	第三市抜活動		50,000		59,972	花植栽・子供ふれあい事業他
	グラウンドゴルフ大会		100,000		98,719	春・秋季大会
	丹比地区文化祭		450,000		384,231	福引き景品・バザー材料他
	一心祭り		40,000		22,656	
	花いっぱい運動		8,000		3,635	春、秋各1回
	新春書初め大会		10,000		10,312	
	農業座談会		10,000		0	
	植栽地管理		20,000		20,000	日南三角地
	芸能文化伝承		10,000		10,000	宇佐神社神祇会
負担金	吉田地域振興会 連絡協議会	45,000	45,000	45,000	45,000	支助成金の5%
雑費		242,300		11,420		
	義援金		5,000		7,726	慈善鍋募金赤十字社へ
	予備費		237,300		3,694	敬老会不足分補助
合 計		2,005,300	2,005,300	1,336,923	1,336,923	

収入合計額 1,780,114 支出合計額 -1,336,923 = 次年度繰越額 443,191

平成25年度 事業計画

全体活動

- 4月・4/27 総会
- 6月・6/2 春季グラウンドゴルフ大会。(吉田町チャンピオン大会予選を兼ねる)
 - ・春季花いっぱい運動「マリーゴールド」プランター植栽、公共施設に配置
- 7月・7/7 一斉清掃 吉田町4地区の振興会が取り組んでいます。
 - ・7/20 一心祭り 吉田町4地区振興会共催。イベント、運営スタッフで参加。
- 9月・ふるさと祭り(第1支部)支援 丹比体育館や運動場で交流イベントを開催。
 - ・9/16 「敬老の日」のお祝いとして対象者に、お祝い状、記念品、お弁当を配布。
- 10月・10/13 敬老会式典と文化祭 吉田運動公園体育館で式典後、発表と展示による文化祭開催。
 - ・10/27 秋季グラウンドゴルフ大会。
- 11月・秋季花いっぱい運動「あじさい」植栽。
 - ・11/17 吉田町グラウンドゴルフチャンピオン大会 春季大会上位8チームが出場。
- 12月・12/1 高齢者友愛訪問 対象者に手作り弁当を持って訪問交流。
 - ・まちづくり懇談会 市長を交え丹比の地域づくりについて懇談。
- 1月・1/5 新年書初め大会 吉田地区振興会と共催で、安芸高田市民文化ホールを会場に開催。
- 2月・丹比地区農業座談会。

支部活動

- 第1支部・ふるさと祭り、環境美化活動(植栽草刈り等)、他。
- 第2支部・桜公園管理、サンフレッチェ応援旗交換、リサイクル事業の推進、他。
- 第3支部・花いっぱい運動、子供とのふれあい事業、環境整備活動(宮崎神社周辺「いこいの広場」)、リサイクル事業、他。

啓発活動

広報紙「丹比地区振興会だより」発行。(5月、11月)

施設管理事業

「吉田生活改善センター」と丹比西コミュニティ集会所」を指定管理者として管理する。

平成25年度 予算 (単位 千円)

収入の部 収入予定額 2,248
 (会費 94 補助金 1,481 寄付金 25 雑収入 205 繰越金 443)

支出の部 支出予定額 2,248
 (事務費 165 会議費 80 研修費 25 事業費 1,643 負担金 45 雑費 290)

本年度も、皆さんからお預かりした会費などを最大限活用して活動を推進しますので、今後とも、ご支援、事業参加をよろしく願います。

25年度役員です
よろしく願います

振興会会長	川角一郎
副会長	(新) 古川省三
副会長	新崎妙子
第一支部支部長	横川智明
副支部長	岩田隆幸
事務局	大田清子
第二支部支部長	(新) 是常知明
副支部長	三川庚辰
事務局	菅田さおり
第三支部支部長	柿上正博
副支部長	俵 秀樹
事務局	山田数敏
総務部会長	泉迫あき
副部会長	赤川正仁
文化・体育部部会長	瀬戸豊昭
副部会長	山根孝幸
福祉・環境部部会長	中束允茂
副部会長	横田百合子
産業部部会長	鳥井康義
副部会長	大山信雄
振興会監事	秋田登久夫
監事	岩崎清昭
事務局	大野泰典
事務局	柿田治宣
事務局	花房鶴子
会計	(新) 二井田清子

第15回 吉田町グラウンドゴルフ・チャンピオン大会

吉田町地域振興連絡協議会主催のグラウンドゴルフチャンピオン大会が、11月25日(日)土師ダムの八千代グラウンドゴルフ場で選手、来賓や役員約200人が出席し開催されました。本年度は可愛地区振興会が大会運営にあたり、各地区からベスト8、32チームが参加し熱戦を展開しました。難易度の高い本格コースに選手は苦戦していました。コースに慣れたチームの成績がよかったです。

丹比地区成績

相合3A	4位(6人)	307
相合5	6位(6人)	314
西浦下	9位(6人)	322
後相合A	13位(6人)	332
後相合B	24位(5人)	294
津々羅	27位(6人)	362
相合4	30位(6人)	387
相合3B	31位(6人)	388

入賞チーム

優勝	郷野6	286
準優勝	郷野1	304
3位	郷野5	307
4位	相合3A	307
5位	六日市A	307

交流

活動報告



平成24年度秋季グラウンドゴルフ大会

本年度から、運営の煩雑さを回避するため、文化祭行事と切り離し「秋季グラウンドゴルフ大会」を開催することになりました。24年10月28日開催予定が前日の降雨によりグラウンド状態不良のため、25年3月17日に延期しサッカー公園人口芝グラウンドで開催しました。他の大会や自治会行事などと重なり参加チームも23とやや少なかったが、天候も良く”西浦の里”に大声がこだまし、心身ともにリフレッシュできました。表彰は団体賞8位までを、ホールインワンを出した15人(16個)全員にホールインワン賞を授与しました。



成績表

順位	チーム名	スコア
優勝	後相合	231
2位	隠地A	287
3位	相合3A	292
4位	甲田B	307
5位	相合2A	308
6位	甲田B	308
7位	相合3B	314
8位	印内	318

高齢者友愛訪問

吉田町全体で取り組んでいます

24年12月2日(日)福祉・環境部会が中心となり21人で、夕食弁当を作り、80歳以上の独り暮らしの方、85歳以上の高齢者の方137人全員へ、集落の代議員さんが訪問しお渡ししました。

支部活動

第一支部

- 6月10日 春季花いっぱい運動
- 6月10日 清掃活動
- 7月28日 清掃活動
- 8月22日 鯉の放流(300匹)
- 8月28日 あじさい公園手入れ
- 9月22日 第七回ふるさと祭り
- 10月23日 猿掛け城址景観整備
- 11月11日 秋季花いっぱい運動



第二支部

○桜公園管理活動

4月7日 草刈

4月12日 照明設備等準備

から ライトアップ

4月21日

4月22日 照明設備等撤収

8月5日 駐車場の草刈り

○リサイクル活動

偶数月にカン、ペットボトル、新聞、雑誌、段ボールを回収

○サンフレッチェ 応援事業

4月 応援旗等の補充作業

8月 応援旗等の補充作業

12月 優勝の旗に交換

3月 応援旗に交換



第三支部

5月26日 リサイクル活動

6月14日 ふれあい農園活動

6月16日 春季花いっぱい運動

ふれあい農園活動

8月4日 リサイクル活動

9月9日 環境整備活動

11月24日 リサイクル活動

12月17日 花いっぱい運動準備

12月17日 秋季花いっぱい運動



明日を支える若者の声

市民フォーラム

あきたかた物語り

2月24日(日)甲田文化センター ミュージックで安芸高田市・安芸高田まちづくり委員会主催により「安芸高田市市民ホーム」が開催されました。

◆学習発表

小田小学校5・6年生17人により、大正時代から地域で演じられている「大上山田楽」の実演披露があった。この取り組みによって、地域への愛着や誇りの醸成につながり地域の一員としての自覚が芽生えた。

◆活動事例発表

- ①桑田大使神楽団 池田 拓さん
- 「美土里神楽と私」

私は、広島的神楽が好きで高根から一昨年度大使神楽団に入った。今は甲田町に住み、介護の職につき、周囲の人たちに支えられ安心して神楽を楽しんでいる。

- ②安芸高田市工業会 副幹事 藤原 康夫さん

「交流から始まる安芸高田市工業会」
地域活性化部会に属し、いろいろ提言をしている。各企業の従業員が交流の輪を広げ地域活性化に貢献し子育て支援にもつなげたい。

- ③株式会社トベコおぼら(甲田町) 平栗 雄二さん
- 「農地を守って地域づくり」

地域、農家、自然環境が融和する三位一体農業を口指している。小原は自然が豊か、地域活動がさかん、子供が育てやすい、ことから9年前Uターンした。5人の子供を持つ父親、

農業で生活ができるよう頑張っている。農業を継続するには、地域の支えと若者が必要です。地域と交流し若い人が安心して働ける会社になりたい。

◆パネルディスカッション

コーディネーター 県立広島大学 上水流 久彦さん
「明日を支える若者の声、これからのまちづくりの話をしよう」をテーマに
活動事例発表者3人に、川根柚子協同組合 熊高 真奈美さんが加わりパネルディスカッションが行われた。

◆まとめ

- ①若者を引き付ける地域の条件は、その地域でいい暮らしができるより自分の夢を実現できることが重要だ。若者が持つ専門性、能力を活用する。
- ②無駄なことができる地域であること。「まあ、やってみよう」と、言える地域の寛容さが必要。
- ③若者の意見を、「言いはなし、聞きっぱなし」にならないような制度的仕組みづくりが必要。たとえば、委員会に20〜30代の代表を必ず入れる制度。

※編集後記※

振興会総会も終わり、いよいよ本年度の活動が始まります。毎年同じ事業計画の繰り返しですが、継続は力です。事業に参加し活動とおして新しい人を知り、地域の状況が分かるようになります。合って話をする事で親近感がわき、たび重なることで地域の絆が強くなるのではと思っています。あつてはならない「大災害」を自然の営みとして受け止めるならば、人的被害をいかに少なくするのです。振興会活動の最大の目標でしょうね？

総務部会 古川信雄

